



広報 利尻

人口と世帯数

世帯数	1.626
人口	8.279
男	4.202
女	4.077

昭和43年12月1日現在

1, 1969

No. 14号

春頌



として保存しましょう。いつか役に立ちます

利尻富士
視界におさめ
初船出

初日影に雪肌を紅潮させる利尻富士

(沓形防波堤灯台より写す)

写真提供 岡本一民氏



新しい世紀を創造する第一歩ともいべき昭和四十四年の輝かしい元旦を皆さんと共に慈なく迎えることが出来まして喜びに堪えません。

年頭のことば

昨年が明治百年そして北海道百年という意義深い年でありましたが、半面我が国に取りましては内外極めて多端な年で、特に大学騒動に明け暮れた感が致し、あたたかも明治の夜明け前のような暗さと激動の中で終始した感がないではありません。

一方、我が利尻町の一年をふりかえて見るに、産業振興の面においては、小樽、天塩との経済交流懇談会を開き、小樽からも知名士の来町を得て海上から遠く札幌との連携交易を図る基礎をつくり、町自体においても産業振興対策を樹てて将来のビジョンを定め、準備を進めて参りましたが、具体的に実施に移すまでに至らず、準備期間としての基礎的な調

査と、連絡に終わりましたことは遺憾に堪えません。

今年こそはこれらの調査や計画に基づき、綿密周到な用意を以って着実に実施に移して参りたいと存じます。

いづれにせよ、このようなことは一朝にして成就するものではなく、長い年月を費やさねばその成果を期待し得ないのは勿論のこと、住民の皆さんの深い理解と協力を望んでやみません。

本年は我が利尻町に取って開基

開基七〇年の
新年を迎えるにあたって

町繁栄の基礎作りを

利尻町長 小田 桐 清 実

ります。

今、現実の問題として漁業は曲り角に立っているとわれ、魚を多く獲れば大漁貧乏という近代にふさわしからざる奇異な現象が出ています。

沿岸から沖合へ、沖合から遠洋へと行政指導面ではやかましく言うが、船の建造資金を誰れが出し、どこで面倒を見るのか、この点になると責任ある機関がない。仮りに船が大型に建造されたとしても乗組員がいらない。ほんとう

に課せられた責務であると考え、積極的に推進してゆく覚悟であります。

また観光産業並びに商工業の進展にも出来るだけ国や道の投融資を仰いで進展させ、観光客の誘致を図るための特別な施設を民間資本に俟つことにして心当りを探索中であります。

次に、農業、牧畜の振興については、利尻、礼文両島を肉資源の基地とするため、三町で協議中でありますが、これも国や道の投資を仰いで、草地改良を行ない、山麓の草原を開発して陸と海とのバランスの取れた開発を試みることにしております。

飲料水に恵まれざる当町としては、水資源の徹底調査を行ない、良質の飲料水の発見に努めることにしております。

道路、港湾、漁港については引き続き早期完成を図るべく、国道に予算の増額方を要請し、特に冬期間の交通確保に万全の策を講じたいと考えています。

七十周年にあたり、又、北海道二世紀への第一歩を踏み出す意義深い年でありますので、この北辺の孤島に、しかも先人未踏の地に足をふみ入れて漁業に従事し、開拓に着手した先人の功績を讃え、七十年の自治体生活の変遷を顧み、反省を加え、現実を直視して、将来に資し、輝やかしい未来に向かって高く理想を掲げ、町永遠の繁栄の基礎を築かねばならない重大な責任と義務を痛感する次第であります。

しかしながら、こうした問題と取り組んで民生安定を図るのが私

機材の整備充実を図り、又医師の確保に努めて行く所存であります。

衛生施設については住民の非難がないよう留意し、特に消防施設については長期計画に基づき整備し、不慮の災害に備える積りであります。

社会福祉の向上は明るい町づくりの根幹でもありますので、これが向上を図ると共に、交通安全対策にも力を注ぎ、社会不安のない住みよい郷土をつくりたいと念願しておりますので、今年も住民皆さんの格別の御支援と御鞭撻を願って新年のごあいさつと致します。

沓形市街地





町民の皆さん、新年おめでとうございます。

昨年は残念ながら期待の昆布が全くの不振に終わりましたが、変らぬご協力を賜わり、お蔭をもって町政は愈々堅実さを加えつつあることはまことに感謝に堪えないところであります。

さて本年は、開基七十周年、町制施行二十周年、更に杏形大火五周年の記念すべき年にあたります。この年にあたって静かに過ぎ

道民の皆さま、明けましておめでとうございませう。

希望に輝く昭和四十四年の新春を皆さんとともに迎えることができま

すことは、まことに喜びにたえないところであります。昨年の本道は、天候もおおむね



我が町の歩みを振り返り、先人の遺業を讀ると共に、将来の我が町のあるべき姿をしっかりとふんまえ、すべての根底を町民の将来にわたる繁栄に置いて、目先の見返えりに幻惑されることな

七二年に向う プロジェクトの年

利尻町議会議長 松野義男

く、総花的資本投下を排し、貴重な財源をより有効に生かせるような、プロジェクトの年にすべきと思

うのであります。それには、産業振興施策こそ第一義とすべきであります。漁業に

おいては先づ身近な沿岸に好漁場を有している事を忘れてはいけません。例を上げるならば、近年豊漁が続いているイカ漁は、昨年礼文島において最低一人二百万円の水揚げがあったという事実

を再認識すべきと思います。我々の身近にこの事実があったにもか

かわらずこの好漁場を捨て、出稼ぎに出るといふことは、どこかに欠陥があるのではないかと。これが若年労働者の流出にもつながって

北海道知事 町村金五

順調であり、農業は二年連続の豊作に恵まれ、産業、経済は概して好調のうちに推移することができましたことは、まことにご同慶にたえません。

しかしながら、十勝沖地震をはじめ、炭鉱災害などが発生し、多くの方が被災されましたことは、遺憾にたえないところであります。

さて昨年は、北海道百年記念祝典に天皇、皇后両陛下をお迎えし道民は本道の一層の躍進をはかる



ため決意を新たにしたいところであります。また、本年は輝く未来の創造に向かってたくましく前進する年であると存じます。

近年、本道の産業は着実に発展を遂げ、道民生活も年とともに向上してまいりました。一方で、物価の上昇、交通事故の激増、農山村の過疎問題など、多くの困難な問題に直面してのであります。私は

道民の皆さんと相たずさえて、これらの課題の解決のために、積極的な努力を傾けてまいる所存であります。

ご承知のとおり、第二期総合開発計画は、最終年次を明年に控えて、いよいよ仕上げの重要な時期

いる。関係漁組の理事者とも一層の話し合いをもつてこの防止と生産性向上に一日も早く動くべきと考えます。そしてこれの裏付けとしては中核漁港の整備に全力を注ぐ必要があります。この後背地に憩い施設をつくり漁民の休養と明日の活力源とし、冷蔵庫を設け地場消費鮮魚の価格調整に処し、更に共同乾燥場をつくりコスト引下げによる生産価値を高め、生産性を飛躍させなければならないと考えます。

又、これに加えて近い将来の計画ではあります。道並びに国において、その施策として問題に畜産の振興があります。これは漁業生産の不足を補うよう基本的な問題として、強よく推進すべきであろうと考えます。

にはいるのであります。私はこの計画を一層強力に推進するとともに、第三期総合開発計画は、本道の発展と道民生活の向上をめざし、本道がわが国の躍進に偉大な役割を果たし得るよう、新鮮で雄大な構想のもとに、その策定を進めたいと存じます。

北海道二世紀の第一年という意義深い年頭にあたり、過去百年の歴史の支柱に、不屈の開拓者精神であったことに思いをいたし、偉大な北海道の建設に向かって、全道民が力強い第一歩をふみ出されんことを心から念願するものであります。

道民皆さまのご健勝とご精進をお祈りして、年頭のごあいさつをいたします。

更に観光産業の振興については我が町は、例えは仙法志御崎公園の奇岩群の宣伝を活発にし、又杏形岬公園を魅力ある周遊地として人工的に造りあげていくことを考えねばなりません。

幸にも、昨年新おたる丸が就航し、小樽市との経済交流が一段と深まったのを機会に、札幌の観光客、ひいては内地の観光客をこのルートから誘致すると共に、島に上った観光客は必ず我が町に足を止めさせるような大きな、魅力ある施設を我々の手でつくり出すことであります。

産業の振興、生産性の向上なくしては辺地の町村は生きてはいけません。『過疎』はもはや抗し難いとはいえず、努力を放棄してしまつては自然滅亡に追いやられることは火を見るより明らか。『過疎』は九州、中国方面に端を発し、東北地方を貫し今や我が地方にも急速に浸透しつつあります。全国で三百以上の町村が既に子供を生む世代が出つて自然減現象が生む世帯化しています。老人だけの町。生産性のない町。これはゴースト・タウンに等しい。万が一我が町がこんなことになったら、七十年前の我々の祖先に何と云って顔むけが出来ましようか。

議会は議決機関という尊い使命を自覚し利益代表や部落意識を捨て、公正な良識ある行動をもって八千町民の信託に応え、町理事者ともども新たな利尻町の歴史にむかって歩を進めたいと存じます。

どうか皆さまの一層のご理解とご協力をお願いして年頭のごあいさつといたします。

議会だより

定例第四回
会期二日間

新選挙管理委員さまる

ことし最後の定例町議会は、去る十二月十八日招集され、十二月十九日閉会されました。

今回の定例会は、会期を二日間とし、第一日は町長の懸案事項の陳情経過報告及び、本年度事業状況報告などを内容とする行政報告が行われるとともに、町長に対する一般質問が行なわれ、第二日は引続き一般質問が行なわれた後選挙管理委員及び、補充員の選挙を行なったほか、次の議案が審議され、いずれも原案どおり可決し閉会しました。

会議案第五十四号 利尻町議会議規則の一部を改正する規則

議案第五十五号 利尻町議会議案の一部を改正する条例の制定について

議案第五十六号 職員団体の業務にもっぱら従事する職員に関する条例を廃止する条例について

議案第五十七号 職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する条例について

議案第五十八号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

議案第五十九号 町道路線の廃止

議案第五十九号 町道路線の廃止

次に新しく選挙された選挙管理委員及び補充員の氏名は次のとおりです。

委員

園家 義 夫 杓形字日出町

僧侶 大正三・一〇・二六

藤井 庄太郎 仙法志字政治

漁業 明治三二・二・九

常磐井 武 秀 杓形字緑町

神職 大正一一・八・三一

久保田 広 市 仙法志字久速

漁業 明治四二・一一・二二

補充員

氏名の上の数字は補充番号です

(一)吉 田 芳 雄 杓形字新湊

特定郵便局長

大正一三・一・二二

(二)木 村 正 一

仙法志字本町

商業 大正一一・一・一一

(三)堀 川 亘

杓形字緑町

団体職員

大正一四・九・二〇

(四)杉 田 茂

仙法志元村

水産加工業

昭和四・三・二〇

今年の除雪計画から

町ぐるみで除雪車に協力を

いよいよ積雪の時期に入りましたが、今年はその計画により道々

と町道の除雪を行ないますので沿道みなさんのご協力をお願いいたします。

◎除雪事業に先立ち道路脇の障害と

なるものを自主的に移動して下さい。再三注意しても移動しないものはその損害を弁償致しません

◎待避所の施設箇所はその土地所

有者と協議し、使用させて戴くようにします。

◎消火栓、水道など移設不可能なものは、標識等により標示して下さい。

◎除雪車は原則として、当局(利尻出張所長)の指示により運行し、通常朝の定期バスの運行ができる状態にすれば杓形発六時一〇分の一番バス及び鷺泊発七時十五分のスクールバス運行に支障がないように各除雪車は朝五時に出勤します。

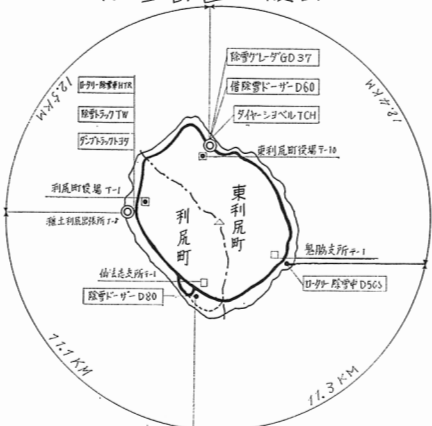
◎昼間に降雪があり、除雪が必要と考えられる場合は出勤するが吹雪、地吹雪で見透しが悪い場合、これがよくなるまで待機します。

◎夜間の除排雪は、原則として行なわれないが、必要な場所は出張所の指示により出勤します。

◎当路線のうち、未改良区間は特に道巾がせまいため除雪中、建造物等を破損された場合は土木現業所利尻出張所か町役場又は仙法志支所へ連絡して下さい。十分に調査します。

◎路上に駐車しておく朝になって雪が積り分らなくなり除雪車がこれをわからず破損する恐れがあります。また駐車がかかった場合でも先

除雪計画一般図



に進めず予定時間に開通できないこともあるので路上駐車には充分気をつけて下さい。

◎除雪した雪をみだりに道路に押し返して交通に支障をおよぼすと法律に違反することにもなり、また車や人にも迷惑になりますので是非やめて下さい。

◎排雪については、積雪の量が多くなり多量にうちに実施する計画ですので各地区の交通安全協会と住民の皆さんのご協力をお願いいたします。

謹賀新年

昭和44年元旦

- 副議長 長松野 義三
- 議長 中川原 捨三
- 議員 北村重 雄
- 議員 大高千 代太郎
- 議員 中山二 郎
- 議員 大腰金 治郎
- 議員 原崎竹 治
- 議員 不破保 治
- 議員 高島光 雄
- 議員 西松正 夫
- 議員 角昭夫
- 議員 惣昭夫
- 議員 川周八
- 議員 吉村皓 治
- 議員 谷口安 治
- 議員 桜井正 敏
- 議員 加藤孝 三郎
- 議員 梅津和 郎
- 議員 牧野吉 太郎

今年の建設事業から

町立仙法志保育所竣工

仙法志地区住民の念願であった常設仙法志保育所が竣工し、去る十二月十五日新保育所で開所式が開催されました。

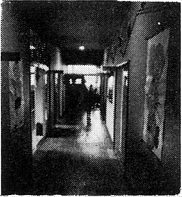
同保育所はことし九月はじめ、株式会社吉安組の請負で着工、十一月下旬に仙法志本町に完成したもので

建物は木造モルタル造り平屋建、面積二百六十四・四平方メートル、工事費六百五十二万七千円で、内部は保育室二、乳幼児室一のほか遊戯室、事務室、器材室、寝室等があります。



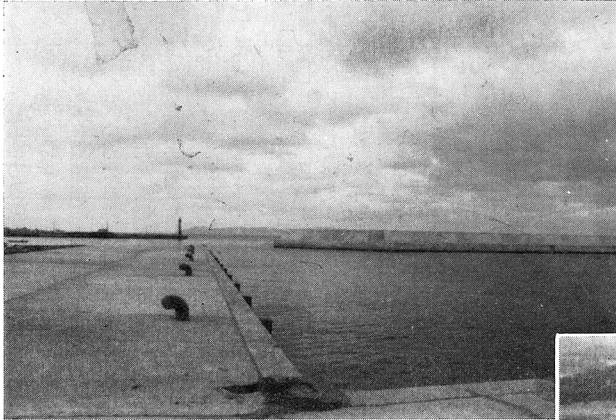
仙法志保育所全景 →

仙法志保育所内部 ↓



沓形港の第二内港新設

沓形港の内港ができてから数十年にもなりますが、当時とはすっかり変って現在は、50噸から100噸級の船でせまくなりました。国では北海道北方の重要な漁業基地として、また離島の連絡港として8億数千万円の巨費を投じて沓形日出町下に第二内港を建設中で、その一部が本年度できあがりました。



一部が完成した沓形港第二内港 ↑

完成した栄浜防風林帯 ↓



第一期工事が終った沓形小学校々舎 ↓



治山工事終る

災害を防止するために今年も、スサントマリ沢(神磯)床固工1基、大空沢(長浜)床固工2基、アキシオル沢(神居)床固工4基、防風林(栄浜)防風工2.730メートル、なだれ防止林(蘭泊)防風工900メートル、保安林改良(沓形)植栽5ヘクタール等が北海道の手で進められていましたが、降雪前に全工事が完了しました。

冬の交通事故をなくしよう

本町における冬期間の交通事故は、年末年始の繁忙さらに飲酒運転、道路の除排雪の不徹底等が重なって交通事故が激増する傾向にあるため、歩行者も運転者も次のことを充分に守り、お互いに交通事故にあわなないようにまた交通事故を起さないようにしましょう。

◎酒飲運転を追放しよう

酒飲運転は、法律で固く禁止されており、酒を飲むと神経が麻痺し、注意力が散漫となり大きな事故を起こし易くなります。

酒酔運転により事故を起こし人を殺傷した場合、その補償のために全財産を失なうこともしばしばあります。

そのため
① 酒を飲んだら絶対に車を運転しない。
② 車を運転する人には、絶対に酒を飲ませないことを徹底しましょう。

◎スリップ事故による交通事故をなくしよう。

冬の交通事故は道路面の積雪凍結により車のスリップによる事故が非常に多く発生しています。また車のガラスが曇っているため、視界が悪く事故につながる場合があります。このよう

な事故を防止するため

① 車を運転する人は路面が滑ることを常に考えて前の車に追突しないように注意して運転しよう。

② 車のすべり止をよく整備して車を運転しよう。

③ 車の窓をよく拭き視界を広くして運転しよう。

第1回交通安全学校から

「町民こそつて交通ルールを身につけよう」交通安全指導員設置さる

本町における交通事故は、全町あげての努力にもかかわらず、依然として激増の傾向を示し、町民にとって大きな社会的不安を与えています。

このような情勢に対処し、悲惨な交通事故の防止をはかるため、利尻町交通安全運動推進協議会では、交通指導員を三十

五名委嘱しました。

この交通安全指導員と云うのは最近歩行者側の交通事故が非常に多いので、一般歩行者に対して正しい歩行を指導するとともに、交通安全運動に参加し、交通安全思想を町民に普及することが主目的です。

◎道路の除雪を実施して交通事故を防ぎましょう。

道路上に車を駐車していたりいろいろな物が置いてあったりするため除雪が不十分で車の追突による事故が起りますので

① 道路の除排雪に地域、職場ぐるみで協力し、視界を広くしよう。

② 除雪した道路には雪を捨てないようにしましょう。

③ 道路上に車や物を放置しないようにしましょう。

谷地区交通安全推進員和田勝氏より「今後の交通安全の推進について」と題してそれぞれ講義が行なわれ、第一回の交通安全学校を閉校しました。

尚このたび委嘱された交通指導員の氏名は次のとおりです。

相原 光 古川十充 半沢 誠
喜多昭二 針金順五郎 吉岡昭夫 酒井義勝 鈴木 実 田尻

『名前がもれてはいませんか』

利尻町教育委員会では、次の名簿の通り昭和四十四年度新入学児童を調査いたしました。名簿に

記載されていない児童、氏名等に誤りがある場合はお手数でも利尻町教育委員会(電話一四五番)へお知らせ下さい。なお調査は昭和四十四年十二月一日現在です。

昭和四十四年度新入学児童氏名(昭和四十四年十二月一日現在)

杓形小学校

草間晃悦 松本和佳子 浜辺浩幸
柴田寿子 熊谷秀浩 中田美綱
子 五島政幸 村松康二 矢田弘之
佐々木昭一 浦家伸博 斉藤雅弘 田村郁子 山口則恵 馬場裕美 米田ゆかり 伊藤孝史 渡辺康之 平沼義典 中島みつほ 河合克泰 池内隆生 平田繁子 加村さとみ 大高裕樹 工藤隆本堂栄美 中村晴美 柴田修子 高村健一 小杉 潤 吉安隆英 柿元国男 近藤 卓 吉田ゆかり 水島ゆかり 山中みゆき 葛西元治 相坂行男 山田孝仁 江戸双恵 岩島久美子 落合雅道 針金せつ子 飯田洋子 三上寿也 中山ゆかり 中山寿行 本間さゆり 福本律生 佐々木宏幸 守屋信宏

久連小学校

寺田美穂 保田昌子 石垣美芳
大高きくよ 石川美代子 小泉年幸 根上 学 北辻香昭 北辻美秋 加島 利幸 磯江洋司 十一名

仙法志小学校

杉田秀之 野陳真澄 室達可奈
川口孝一 町村かおり 赤坂 哲吉岡克博 高橋直孝 中島彰範 沢田尚美 沢田 聡 櫛引美保子 阿部英二 川村祐二 田原博英 鳴海真理子 田原公恵 小倉節子 小倉俊広 伴さゆり 赤坂ひとみ 藤野喜幸 長田順也 宮下幸美 山元建二 中谷雄治 坂江若奈 高村幸弥 中島ゆかり 中島幸美 佐々木とよ子 落合里美 杉山裕樹 平野英志 三十四名

新湊小学校

沢木秀也 沢木康継 大山健二
能村初美 多々見孝 多々見悟 川端 悟 忍 井田利枝 能村勝洋 森原英子 浦本敏昭 十二名

沢谷由貴子 横田政人 一家新吾
末吉 剛 安原弘勝 米田さゆり 五十八名

正 島山箕角 森田勝弘 津田
喜三 太田幸雄 今野勝男 田
中 了 平田 武 斉藤文雄
石上武 鈴枝刀一 清水伊代子
北村公子 吉田博恭 林 俊彦
寺田幸雄 砂田京子 上木りつ
笹原礼子 山元茂夫 富山金治
浜田昭栄 川村周吉 坂井清一
郎 須藤順一 中島千秋

連載 保健婦メモ

シリーズ 4

酒の生理学

酒は百薬の長とか、気ちがい水などと呼ばれるように極端に二つの顔をもっております。

そこで今日は酒の生理についてお知らせします。

酒を分析すれば、水、アルコール、糖質数量のアミノ酸(タンパク質が分解してできる物質)にわかれますが、酔いがこの中のアルコールによることはご存知のとおりです。

体の中に入ったアルコールは血液とともに全身に運ばれます。特に大脳へ運ばれたアルコールは脳細胞の酸素の代謝活動を抑制して中枢機能をマヒさせてしまいます。

酔わないいいわゆる酒に強い人と云うのはこの大脳マヒが習慣化して、にぶくなっていたり、自律神経の反応も感じにくい人なのです。

反対にお酒に弱い人というのは少量でも顔がまっかになり心臓がドキドキして不快頭痛に悩まされますが、こういう人は自律神経の過敏な人が多く、大脳のマヒが起るまえに自律神経がアルコールのためにおかされてバランスが崩れるためです。

しかし肝臓と飲酒は無関係ではなく、ビタミンやタンパク質の少ない食生活をおくっている人が過度の飲酒を続けると肝臓を悪くする原因になります。

したがってお酒を飲むにも常に日頃の食生活が影響していることとなります。

次にお酒を楽しく飲んで悪酔いしないためには次のことが必要です。

一、自分の酒量を守り、お互いに無理な飲酒をしないこと。

二、天ぷら、チーズなどの脂肪やタンパク質に富んだものをとること。特に脂肪は胃の粘膜を保護して胃を痛めないだけでなくアルコールの吸収をかるやかにして悪酔いを防ぎます。

三、酒のあとは果物を食べるようにすると酔いざめの水以上に効果があります。

四、ビタミンの補給は酸化した血液を正常にする働きがあります。

五、肝臓薬などの効果は期待できないことを十分認識しておくこと。

講演等に好評を得た 第2回 利尻町婦人大会

去る十一月二十三日第二回利尻町婦人大会が、保健福祉館において、全町から集った約百二十名の婦人によって盛大に開催された。この婦人大会は、杏形連合婦人会と仙法志婦人会が昨年阿地城婦人団体の交流を図り、新しい郷土づくりに果すことをねらいとして

結成され、利尻町公民館で第一回大会が催されたのに引き続きもので、本年度の大会目標は、「現代に生きる立場を見つめなおして、楽しい生涯を過すためよく考え、計画し、実践し、そして反省できるように」の目標のもとに、盛たくさんの研修が行われた。

全道婦人大会に出席した杏形連合婦人会の三浦敬子会長の報告、中頓別町で開催された宗谷地方婦人大会に出席した、町婦連小田桐ひさ会長

外五名より詳細な報告があり、その後婦人会活動の実情発表は、泉町第三婦人会、日の出町第二婦人会、長浜婦人会の各代表者より大変参考となる発表が行われました。

分科会では、漁家生活の反省、私達の老後に期待するもの、婦人会活動の目的は何かの三分科会に分かれ日頃の婦人会活動からに

み出た問題点など真剣な討議が交されたのであります。この大会の講師としては本道社会教育の権威である札幌養護学校長、松本達雄先生に來町を願ひ、「婦人の生涯と生活」と題した講演があり、婦人の生活とその実態を克明に分析して婦人がより向上した婦人となる方策等、非常に好評を博し婦人大会の幕を閉じたのであります。

なおこの大会の内容については次号でお知らせ致します。 婦人大会の風景



「一年の計は元旦にあり。」いふるされたことばですが、新年を迎え、今年こそはこれを実行しよう、あれも実現しようとお考えのことと思います。 新春、我が家の貯蓄計画にふみ出されるのにもっともよい時期で

新春は

計画貯蓄でスタート

「郵便局のみりおん会」で

「一年の計は元旦にあり。」いふるされたことばですが、新年を迎え、今年こそはこれを実行しよう、あれも実現しようとお考えのことと思います。 新春、我が家の貯蓄計画にふみ出されるのにもっともよい時期で

す。昨年十月発表の貯蓄に関する世論調査によれば、年収の四倍の貯蓄をしたいというのが大多数です。

「年収の四倍」ちよっと多いとお感じかもわかりませんが、綿密な計画と意志があれば目標は大きくても達成できます。

長期計画……これがピタリなのが「郵便局のみりおん会」です。 郵便局では、定額貯金で、収入に合せて、無理なく百万円がたまる「百万円づくりプラン七つのコース」を用意して、財産づくりのお手伝いをしています。

今年こそはのご決意で、長期計画貯蓄にスタートしましょう。 郵便局には、このほか「通常貯金」「積立貯金」があります。

●通常貯金……(出し入れ自由の貯金です) 利率年三分六厘おさまのお年玉貯金にピッタリです ●積立貯金……(お宅や勤め先などに毎月集金に何う貯金です)

償却資産の申告は 1月31日まで

今月は償却資産の申告月です。あなたが1月1日現在事業で使用している資産を必要経費として申告するに際しては、申告書に申告する資産の納税額を申告する必要があります。長

お知らせ

「国民年金」知事表彰に輝く

老後その他不幸な人達のための年金制度ができてから、本町は住民みなさんのご理解により年金に加入する人も多く、また保険料の納入成績も北海道の他町村に比べ非常に良いとのことでした。このたびは知事表彰を受けました。

この表彰は、日頃国民年金について自治会、婦人会の役員の方々始め、住民みなさんの協力の賜ものであり深謝致します。

今後とも国民年金についてご理解を深め、一人の未納者もないよう一そろうのご努力をお願い申し上げます。

社会係

有線放送スピーカのご故障は早目に連絡して下さい

STV礼文サテライト局並びにNHK仙法志サテライト局の放送開始に伴ない、有線放送のラジオを聞く家庭がほとんどなくなり、本町の有線放送業務を十月五日から連絡放送のみ行うことになりましたが、最近スピーカのご故障をそのまま修理をしないで毎日の定時放送、緊急放送を聞いていない家庭があるようです。これからは積雪

期に入り緊急放送が多くなり、また役場では毎日一回午後六時に定時放送を行っておりますので、スピーカが故障している家庭はすぐに役場又は仙法志支所へ連絡して下さい。

企画係

中小企業融資制度を利用しよう

商工業を営む皆様のために町では制度を作り、さらに地元金融機関の協力を得て、資金の融資を行なっております。

- 一、貸付条件
 - 運転資金 一企業者三十万円以内ただし、特別の場合、五十万円まで。設置資金 一企業者五十万円以内
 - 二、貸付期間
 - 運転資金六ヶ月以内、設備資金二ヶ月以内
 - 三、保証人 二人以上
 - 四、利息 日歩二銭五毛〜二銭八毛
 - 五、対象者 店舗又は事業所を有し一年以上営んでいるもの

申込みは商工会（事務局役場内）で行なっております。
なお、各種商工資金の相談にも応じておりますからご利用下さい。

荒地を利用し 財産をふやそう！

最近荒地が目立って多くなりましたが、これを利用して造林しましょう。

森林は国土の保全はもちろん、国内の木材需要からして重要な役割を果たしています。

また、造林した面積〇・一ヘクタール約一反歩以上は補助金の制度があり、若干の苗木代と労賃ですみます。

森林を所有している方、造林しようとする方であらう知りた方は係の方へお尋ね下さい。

農林商工係です。

道路に商品やゴミ箱を置かない様に

最近町内の道路がだんぐ整備

されてきて交通量も多くなりましたが、路上特に歩道に商品をなべたり、ゴミ箱を年中道路に置きっぱしの方がいます。
商品が邪魔して歩道が通れなくなったり、夜間衝突して事故のもとになります。

この様な方々は、数多くの通行者に迷惑をかけていることになり、ますので、路上に支障物を置かない様に願います。

建設係

「千島櫻」天然記念物の指定に

仙法志長浜「千島桜」が去る十二月二十一日付で北海道文化財天然記念物に指定されました。

教育委員会

戸籍の窓口から

- ◎出生届 自十一月十一日 至十二月二十三日
- ◎死亡届 十四日以内に 七日以内に

道楽一家 工藤恒美



発行 昭和44年1月10日
発行者 利尻町役場
編集 総務課企画係
印刷 利礼資材KK

- ◎出産おめでと〜ございます
- | | | | |
|-------|-----|----|-----|
| 出生者氏名 | 父 | 続柄 | 住所 |
| 佐孝 秀輝 | 陽良 | 長男 | 字本町 |
| 高橋菜穂子 | 守 | 二女 | 港町 |
| 兼田 美保 | 正勝 | 三女 | 本町 |
| 関 信江 | 明治 | 二女 | 新湊 |
| 木明 雅美 | 庄三郎 | 二男 | 泉町 |
| 石岡 幸浩 | 政幸 | 長男 | 本町 |
| 坂上 良子 | 良司 | 長女 | 仙法志 |
| 川端 裕子 | 時雄 | 二女 | 長浜 |
| 宮下 太 | 義二 | 長男 | 政泊 |
- ◇結婚おめでと〜ございます
- | | |
|---------|-----|
| （小柳） 清子 | 種富町 |
| （星田） 艶子 | 日出町 |
| （谷永） 艶子 | 日出町 |
| （飯田） 京子 | 泉町 |
| （松野） 毅 | 泉町 |
| （関） 恩 | 新湊 |
| （佐藤） キノ | 新湊 |
- ▼謹んでお祝い申し上げます
- | | |
|--------|-------|
| 梶屋栄次郎 | 杏形字港町 |
| 成田勝太郎 | 神居 |
| 船木 敬吉 | 神居 |
| 穴場きよゑ | 本町 |
| 近藤 イツ | 泉町 |
| 飯田 ワキ | 港町 |
| 島山 ナツ | 仙法志本町 |
| 藤井 ジュウ | 政治 |